

復 命 書

平成 年 月 日

日進市議会議員 福岡幹雄様

会 派 名 新政ひまわり

会派代表者名 近藤 ひろき 印

出張期間

8月 18日 1日間

出張先

・蒲郡市あじさいの里

参加者

近藤ひろき ・ 古谷のりお ・ 大橋ゆうすけ

用 務

・あじさいを活用した地域振興について

復命事項

別紙参照

※別添資料

●愛知県蒲郡市 形原温泉あじさいの里

平成23年8月18日（木）AM9：00～11：30

視察事項「あじさいを活用した地域振興について」

蒲郡市は沿岸一帯が三河湾国定公園に指定されており、市内には4つの温泉郷があるほか、マリンレジャーやテーマパークもあり、海と山に囲まれた地域であることから県内屈指の観光地でもある。4つの温泉郷の中でも、形原温泉地区は、他の温泉郷に比べ景観的な資源が少ないため、観光客の誘致を目的に三ヶ根山、あじさい園地を中心とした形原温泉地区の地域全体の公園化を目指した。

その取り組みは、昭和62年に形原温泉発展会が県立安城農林学校の生徒の協力を得て、三ヶ根山スカイライン沿いに1万5千株、補蛇ヶ池堤体の裏面に3万5千株のあじさいの植栽を行った。平成元年に「あじさいの里」として開園し、形原温泉観光協会（旧形原温泉発展会）の活動によって整備拡大を行っている。また、土壌に適したあじさいを育てるため、「あじさいの里」の近くで「挿し木」や「日光の当て方」などを変えてあじさいの研究をするなど様々な試みを行っている。

平成元年の「あじさいの里」開園と同時に「あじさい祭り」を開催するようになり、平成7年までは入場料を無料としていたが、経費や労力負担が大きいため、平成8年より管理協力費として1人300円を徴収するようになった。

最近では、「なばなの里」や「茶臼山」等の類似観光場所が増えたため、売り上げが、3年程前から少しずつ減少しているとの事だったが、「あじさいの里」の敷地内に「ホタルの宿」を整備し、新たな魅力の創出に取り組んでいる。

日進市にとっては、市の花である「あじさい」を活用した魅力創出を行うことも新たな観光事業になりえるのではないかと思う。ただ、蒲郡市が植栽や整備工事に多額の資金（愛知県の補助金を含む）を投じていることや類似の観光場所があることを踏まえると、「あじさい」だけではなく、農商工を連携させた商品の開発やブランド作り、さらには、市内外への販売を行えるような流通の確保も充実していく必要があると考える。